



千葉労働動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(22) 7207番

94.8.30 No.4053

第21回定期大会を成功させよう

●10月1日13時~2日正午(2日午後より) ●国民宿舎のさか望洋荘 野栄町野手1747-10
八日市場駅下車

一〇月一日(土)・二日(日)にかけて、動労千葉第二一回定期大会が開催される。

本定期大会は、極めて重要な情勢のなかで開催され、今後の動労千葉と国鉄労働者の将来を決するよう重要な大会となることは明らかだ。

第二一回定期大会に全組合員が、職場の声を反映させていこう。また、多くの組合員が大会を傍聴し、全組合員の手で大会を成功させよう！

一二月ダイ改合

理化との対決を

一二月三日行われようとしているダイ改との攻防は、まさしくわれわれ国鉄労働者の未来を決する闘いである。すでに既報のとおり、貨物会社においては、動乗改悪、「時短」実施にむけて八月末を焦点にしながら、日貨労が裏切り妥結を行おうという状況となっている。そして、そうした裏切り妥結のうえに、一二月ダイ改を期して、「中長期計画」の第一段階としての「白紙ダイ改」・貨物七〇〇〇人体制を強行しようとしているのである。

しかし問題は、貨物のこうした攻撃は、単に貨物会社が「九三年度赤字決算」を計上したから行われるのではない。政府・運輸省が自認する分割・民営化の失敗を繕うことと、鉄道の海外進出、鉄道有事体制の確立にむけて大きく向かう突破口として貨物問題を焦点に「分割・民営化体制の見直し」が強行されるようとしているのである。まさにこの攻撃は、全JR労働者にかげられた攻撃として捉えなくてはならない。

また、東においても、八月二五日の千葉支社提案を見れば明らかかとおり、昨年の二度のダイ改に続き、ローカル線七〇〇〇八〇〇キロの削減や派出体制の見直しなどをもちこんだ合理化提案がなされている。まさに一二月ダイ改は合理化のオンパレードとなっている。

この攻撃にどう反撃していくのか。これが、第二一回定期大会に課せられた第一の課題である。

解雇撤回・清算

事業団闘争勝利

に向けて、体制強化を！

大会の第二の課題は、解雇撤回・清算事業団闘争の勝利の布陣をどう創りあげていくのかである。

昨年の中労委命令以降、国鉄清算事業団闘争をめぐる、政府・連合をはじめ「中労委命令に基づき、話し合いで解決を」として国労に対する屈服強要の攻撃が繰り返されてきている。また、国労もこうした攻撃のなかで、「政労使による交渉」を模索する動向となり、国労内の右派は、「値切り覚悟の早期解決」との主張まで行われている。問題は、解雇撤回・清算事業団闘争を「日本労働運動の宝」として見るの

結集しよう！

■たたかう労働運動の新しい潮流をめざす

9.18労働者集会

☆記念講演：岩井 卓
☆基調報告：中野 隆

このとき、九月十八日(日)午後二時、指定列車 千葉駅(快速)三三〇分

9.18

動労千葉



か。それとも「お荷物として清算してしまうのか。」である。われわれは、「解雇撤回」という労働運動・労働組合の原点をいかに復活させ、闘う労働運動を復権させていかななくてはならないと考える。

大失業時代を迎えるなかで、「解雇撤回」の闘いが大きく労働者の結集軸となることは明らかであり、われわれがいかに闘いの前進をつくりあげられるかということが大会に課せられた第二の課題である。

朝鮮戦争切迫情勢に反戦闘争の強化を

北朝鮮の「核疑惑」を口実に、日米による朝鮮戦争の危機が切迫している。世界を覆う長期不況のもと、先進資本主義各国がアジアの権益を確保するためにしのぎを削っている。そして、アメリカはそのアジアの権益を握るために自らの主導のもとに北朝鮮を力で抑え込もうとしている。また、日本もいまやアジアを「生命線」としているが故にアメリカにその主導権を握られないために、侵略戦争も辞さない構えとなっているのである。そうした状況に対し、社会党は、労働者の利害を貫くのではなく支配者の立場に立ち、自民党との連立内閣のもと、社会党の基本政策をどしどし変更し、そのお先棒を担いでいる。そしてその状況は、労働者に大きな混乱と迷惑を与えているのである。われわれは、既成勢力の総翼賛化ともいふべき状況に対し、いまこそ戦争反対の立場を貫き、反戦闘争の前進のために奮闘しなければならないと考える。反戦闘争の前進のために、その闘いへの組織体制を創りあげられるのが第三の課題である。そして、それらの闘いを前進させるためになんとしてでも組織強化・拡大をかちとろう！ 全組合員の手で第二一回定期大会の成功をかちとろう！